

国 労 ち ば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

職場の不平・不満、
解決は国労へ

職場から春闘を構築しよう

2023年拡大分会長会議



1月14日、国労千葉地本は、千葉県教育会館にて拡大分会長会議を開催した。地本より会社施策と交渉経過報告とともに、今後の闘いについて提起され、全体で意思統一した。

拡大分会長会議は、越川副委員長の開会あいさつで議事が進められた。はじめに加藤委員長から、「労働運動が冬の時代という言われ方もあるが、我々国労が闘うことを諦めるのは会社の思う壺。今年の春闘は賃上げだけでなく国労らしい春闘にしよう。春闘をどう闘うか職場から議論を作ろう。」と、あいさつ。

議題では、中島業務部長より会社施策と交渉経過について、嶋田組織部長より組織状況と分会再編について、書記長より社員代表選挙と2023春闘の取り組みについて、それぞれ提起された。

参加した各分会代表者から発言を受け、北嶋書記長が集約して閉会した。

統合の経験を広めて

【発言内容】

▼木更津統括センター化で乗務員も職業に就かされているが労基署は「予備行番中の職業はふさわしくない」との見解が示された。

▼木更津分会が既に統合されたが、その経緯を広め指導してほしい。分会エリアが広範囲だと集まるのも大変。鉄

道業以外に出向している組合員もおり、こちらからケアを含め繋がりを持つことが必要。エルダー出向の面談は労働条件も示さずここに行けというだけ。

遺失物取扱いが委託

▼遺失物取扱い・津田沼の車イス対応がセントラル警備保障へ委託されるがパートだけで回るのか？遺失物取扱いは委託して上手くいくのか？残る社員も不安を感じる。

▼組織再編はスケジュール的なことを示してほしい。慢性的な要員不足のため休日勤務、年休が入らない状態。社員代表は他労組の立場

補者を選挙協力という形で取組んでいる。選挙戦を通して労働組合の重要性を訴えていきたいが難しさも感じる。

▼エルダー出向が終了する社員へ会社からパートの求人情報が送られてくるが職場が遠くとも通えなかったり、自分でアポを取って面



北嶋書記長

【書記長集約】

駅関係は全て統括センター化になった。標準数の考え方が変化し本来の要員数が見えない状況になっている。ダイヤ改正では千葉以西も減便となる。「ご利用状況を見て」と会社は言うが利用者は戻りつつある。労働者を削減するために使ってもいいという会

社の経営判断だ。利便性や安全・安定輸送を損なうような施策については労働組合としてしっかり検証していかなければならないが千葉支社だけで解決できないものは東日本本部に上げていきたい。予備行番の乗務員を職業に就けるのは労基署から認められないという判断が出されている。今後、東日本本部を通してそのような施策をやめさせるよう具申ししていきたい。

接を申し込まないとならない。もっと親身に

ホームの水たまりなど一向に改善されない。

再編の具体的方向性は

▼広範囲に点在する組合員、役員のなり手がいない状況の中、再編案について運動体制、分会のあり方・進め方・財政等をどのような方向性にもっていくかと考えているのか？

▼統括センター化について地本にはどのようなに伝わっているのか？鴨川運輸区は要員に余裕があるからと蘇我運輸区へ助勤を出した途端に要員不足となった。ホームの蛍光灯切れや

合図燈

鉄道が開通して150年 J R 35年の今 鉄道の在り方が問われている。国鉄時代は公共交通機関として都市部は勿論、地方の住民の足としての役割を果たしてきた。「国鉄の赤字」を理由に「国鉄改革」が進められ、地方交通線175線区のうち83線区が特定地方交通線として廃止され、92線区は地域と一体の経営で地域住民の足として新会社が継承してきた。自民党は「ローカル線の廃止はしない」とPRし、JR東海とJR東日本の社長も「引き継いだ路線を維持し、良いサービスを提供がJRの追求すべき公共性」と述べている。しかしJR発足以降18線区が廃止された。35年が経過して国鉄改革の理念や公共性をないがしろにする事は許されない。持続可能な交通政策は収益に係ってはならない。駅の廃止や運行本数の減少で人口が減少するという研究結果も出ている。地方の過疎化、公共性、移動する権利、職場を守るためにも鉄路を守る運動を強める必要がある。(利)

2023春闘に勝利しよう!!

賃上げにベアは必須

ベースアップとは、基本給の水準が一律で上がることを指し、企業と労働組合との交渉がまとまって決定します。

交渉は、社員の生活実態・物価上昇・社会全体の状況などを反映し、労働組合と会社が議論し決定することになります。しかし、加入率が低かったり、社員の声をきちんと掴んでいないと会社は労働組合の要求にしっかり応えようとしません。

労働組合がないと交渉もなくなり、会社の思うままの賃金体制になりかねません。

物価上昇を特に重視すべき要素として挙げ、これに負けない対応を労使の皆さんには強くお願いします。

サントリーHD 岸田首相
新浪社長

ベアを中心に、手当、賞与・一時金などを含めて賃金引き上げを会員企業に呼びかけるべく検討していく。

経団連 十倉会長
JR東日本 深澤社長

6%を超える賃上げを必ずやる。ベアで社員の生活を支えたい。

業績自体が戻っておらず、回復させることが大事なテーマ。バランスを考えながら決めていきたい。

国労は定期昇給の完全実施、所定昇給額2の回復、物価上昇分のベースアップを求めます。

NRU-east NO. 227より抜粋

2023年春闘勝利！2・27国労中央総決起集会

日時：2月27日13時30分～
場所：交通ビルB1F会議室

拡大地方委員会

日時：3月4日(土)10時～
場所：千葉県教育会館本館303号室

2・16集会

日時：2月16日(木)18時～
場所：千葉市民会館第一・第二会議室

過半数代表者の選出方法

代表者の選出は、正社員だけでなく、有期雇用労働者や短時間労働者(パートやアルバイト等)を含めたすべての労働者が参加できるようにする必要があります。

手続きは、労働者の過半数がその人の選出を支持していることが明確になる民主的な手続き(投票、挙手、労働者による話し合い、持ち回り決議)が必要。

代表者を、会社(使用者)が指名した場合や、社員親睦会の幹事などを自動的に選出した場合は、その人の36協定を締結するために選出されたわけではないので、36協定は無効になる。この場合は改めて36協定の締結当事者となることの信任を得る必要がある。

機関整備進む

分会大会開催



佐倉分会

1月20日、横芝駅付近にて開催した。分会再編と社員代表選挙を含めた提起を受け、参加者から意見を求めた。

参加者は、▼広範囲だと集まったり分会活動が難しくなるのでは。▼分会の集まりは千葉になるのか。▼分会の資産はどうなるのか。▼再編すると東金線の人たちとも一緒に集まれる。など、分会再編についての議論が中心になった。

新役員体制
執行委員長 秋山 力
執行副委員長 石毛貞光
書記長 並木 浩

越川幸夫
執行委員長 福永幸夫
執行副委員長 原裕志
書記長 十文字靖

千葉運輸区分会

1月21日、地本会議室にて開催した。新役員体制

1月24日、幕張車両センター会議室にて開催した。

新役員体制
執行委員長 鶴岡良男
執行副委員長 名島孝志
書記長 東平賢一

両国分会

1月26日、地本会議室にて開催した。参加者からは、▼車イス・遺失物の取り扱ひも多く遺失捜索は対応可能な駅が少なく苦



勞する。▼MVは割引など社員が操作することが増えているが教育が不足し、慣れるしかない。▼日勤が削られ、負担が増えてくる。など、人減らしによるシワ寄せの実態が報告された。

2月22日の統合大会に向け意思統一を図り終了した。

新役員体制
執行委員長 黒川晴久
執行副委員長 風間聖一郎
書記長 松本光男